



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成31年2月8日

上場会社名 株式会社 エフテック 上場取引所 東
 コード番号 7212 URL <http://www.ftech.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福田 祐一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼上席執行役員 管理本部長 (氏名) 青木 啓之 TEL 0480-85-5211
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満は切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績（平成30年4月1日～平成30年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	175,622	7.2	4,619	△13.2	4,362	△3.8	2,284	△34.7
30年3月期第3四半期	163,802	15.7	5,321	△9.6	4,537	△9.1	3,500	46.1

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 1,906百万円 (△65.9%) 30年3月期第3四半期 5,587百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	122.31	—
30年3月期第3四半期	198.25	187.40

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	137,467	57,046	30.1	2,216.70
30年3月期	150,426	56,051	26.7	2,150.74

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 41,404百万円 30年3月期 40,172百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用したため、前連結会計年度に係る数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
31年3月期	—	10.00	—	—	—
31年3月期（予想）	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	233,000	3.1	6,500	△5.2	5,600	△5.5	3,100	△34.2	165.97

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の摘要：有

(注) 詳細は、添付資料 6 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	31年3月期3Q	18,712,244株	30年3月期	18,712,244株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	33,801株	30年3月期	33,769株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	31年3月期3Q	18,678,453株	30年3月期3Q	17,655,878株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信【添付資料】2 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想の修正に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想の修正に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、全体としては回復基調が続きましたが、米中貿易摩擦の拡大が懸念されるなど先行きの不透明感が高まりました。日本経済は相次ぐ自然災害の影響もありましたが、緩やかな回復基調を維持しました。海外では、米国は良好な雇用・所得環境や減税効果を背景に景気の拡大が続きました。一方、中国は米中貿易摩擦等の影響により、景気の下振れリスクが高まりました。その他のアジア地域では景気の底堅さを維持しました。

自動車業界においては、国内は軽自動車の販売は好調でしたが、登録車は減少しました。北米では小型トラックへの需要のシフトが続き乗用車販売が減少しました。中国は販売総数が減少に転じるなど、市場に変化の兆しがみられました。その他のアジアは総じて堅調でした。

こうした環境において当社グループは、第13次中期計画の基本方針である「Back to Basics」「Challenge for New」に沿って、得意先に対して新たな価値を提供すべく活動し、受注拡大に努めてまいりました。

そのような中での当社グループの当第3四半期連結累計期間の業績は、北米市場での新規受注製品の量産効果などを受け、売上高は175,622百万円（前年同期比7.2%増）となりました。損益については、商品売上の減少などにより営業利益は4,619百万円（前年同期比13.2%減）、経常利益は4,362百万円（前年同期比3.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,284百万円（前年同期比34.7%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(日本)

主要得意先の生産台数増加を受け販売が好調に推移し売上高は24,483百万円（前年同期比16.4%増）となりましたが、海外向け商品売上の減少により営業利益は824百万円（前年同期比46.4%減）となりました。

(北米)

前期に立ち上げた新規受注製品の生産が期初から貢献したことなどにより売上高は101,760百万円（前年同期比6.3%増）となりました。損益は、商品売上の減少、得意先の製品売上構成の変化及び米国通商政策の影響による原材料高などにより、営業損失は492百万円（前年同期は営業損失319百万円）となりましたが、生産効率改善やコスト削減の取組みなどにより、第3四半期会計期間（10月～12月）の損益は前年度と比較して改善しました。

(アジア)

主要得意先などへの販売が堅調に推移し、売上高は49,378百万円（前年同期比5.1%増）、営業利益は3,981百万円（前年同期比0.1%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、受取手形及び売掛金、商品及び製品、仕掛品、機械装置及び運搬具、建設仮勘定等の減少により、前連結会計年度末に比べ12,958百万円減少し、137,467百万円となりました。

負債は、支払手形及び買掛金の減少、一方で有利子負債の圧縮を進め借入金9,956百万円減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ13,952百万円減少し、80,421百万円となりました。

純資産は、利益剰余金等の増加により、前連結会計年度末に比べ994百万円増加し、57,046百万円となりました。

(3) 連結業績予想の修正に関する説明

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成30年11月7日の「平成31年3月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,871	7,794
受取手形及び売掛金	39,209	32,168
商品及び製品	5,406	3,786
仕掛品	4,740	4,192
原材料及び貯蔵品	9,321	9,504
その他	4,139	2,537
流動資産合計	68,689	59,984
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,010	17,814
機械装置及び運搬具(純額)	39,333	37,126
建設仮勘定	5,094	3,421
その他(純額)	10,559	10,623
有形固定資産合計	72,998	68,986
無形固定資産	397	370
投資その他の資産		
投資有価証券	6,240	6,098
その他	2,115	2,041
貸倒引当金	△13	△13
投資その他の資産合計	8,341	8,126
固定資産合計	81,737	77,483
資産合計	150,426	137,467
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	22,320	19,967
短期借入金	19,391	12,630
1年内返済予定の長期借入金	13,454	13,214
未払法人税等	791	456
役員賞与引当金	98	103
その他	9,193	8,054
流動負債合計	65,250	54,428
固定負債		
長期借入金	25,348	22,392
役員退職慰労引当金	99	101
退職給付に係る負債	990	993
負ののれん	61	57
その他	2,623	2,448
固定負債合計	29,123	25,993
負債合計	94,374	80,421

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,790	6,790
資本剰余金	7,222	7,222
利益剰余金	25,662	27,573
自己株式	△18	△18
株主資本合計	39,656	41,567
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	792	427
為替換算調整勘定	168	△245
退職給付に係る調整累計額	△445	△344
その他の包括利益累計額合計	515	△162
非支配株主持分	15,879	15,641
純資産合計	56,051	57,046
負債純資産合計	150,426	137,467

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	163,802	175,622
売上原価	145,742	158,463
売上総利益	18,060	17,158
販売費及び一般管理費	12,739	12,538
営業利益	5,321	4,619
営業外収益		
受取利息	63	60
受取配当金	35	43
持分法による投資利益	214	280
為替差益	—	126
その他	153	186
営業外収益合計	466	698
営業外費用		
支払利息	821	908
為替差損	307	—
その他	121	46
営業外費用合計	1,250	955
経常利益	4,537	4,362
特別利益		
固定資産売却益	39	13
その他	—	0
特別利益合計	39	13
特別損失		
固定資産売却損	0	5
固定資産除却損	56	41
特別損失合計	57	47
税金等調整前四半期純利益	4,519	4,329
法人税、住民税及び事業税	1,173	1,491
法人税等調整額	△814	60
法人税等合計	358	1,552
四半期純利益	4,160	2,777
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,500	2,284
非支配株主に帰属する四半期純利益	659	492
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	157	△243
為替換算調整勘定	1,324	△620
退職給付に係る調整額	85	99
持分法適用会社に対する持分相当額	△139	△106
その他の包括利益合計	1,427	△871
四半期包括利益	5,587	1,906
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,431	1,606
非支配株主に係る四半期包括利益	1,156	300

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

一部の連結子会社における四半期連結財務諸表の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益(損失)に該当見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	北米	アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	21,040	95,772	46,989	163,802
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14,010	1,183	2,392	17,586
計	35,051	96,955	49,382	181,389
セグメント利益又は損 失(△)	1,538	△319	3,984	5,203

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,203
セグメント間取引消去	118
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	5,321

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	日本	北米	アジア	
売上高				
外部顧客への売上高	24,483	101,760	49,378	175,622
セグメント間の内部 売上高又は振替高	9,288	1,231	2,563	13,082
計	33,771	102,992	51,941	188,705
セグメント利益又は損 失(△)	824	△492	3,981	4,313

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	4,313
セグメント間取引消去	306
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	4,619

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。